

## 第2回 茨木市立保育所民営化検討委員会議事要旨

1 日 時 平成22年8月19日(木) 午後2時30分から午後3時25分

2 場 所 茨木市役所 南館3階第1会議室

3 出席委員(順不同、敬称略)

津田副市長、村田こども育成部長、久保人事課長、上田政策企画課長、小林財政課長、染川こども政策課長、佐藤子育て支援課長、森岡保育課長、今西幼稚園指導主事、高田保育課保育指導主事、平出保育課副主幹

4 案 件

- (1) 検証内容について
- (2) 法人へのヒアリング項目について
- (3) その他

5 発言要旨

事務局：・引き継ぎ保育士の確認項目に合わせて三者協議会及び引継保育士の意見をまとめている。

議 長：・移管先法人へどういうヒアリングを行うか、これは日程等も含めて事務局で検討する。

事務局：・法人に対するヒアリング方法は、あらかじめ質問項目に対する法人の回答をまとめ、委員会に法人を招き、委員の皆さんが疑問点等を聞くという方法を考えている。一法人につき30分を当てるとして8法人なので4時間かかるので、事務局の方で検討する。

議 長：・建物や土地の貸与等について、問題がないのか、保育士がかなり長い間引き継ぎとして拘束されることの是非も含めて見ていただきたい。

議 長：・アンケートをすることの是非もこの場で検討するべきだと思っている。  
・アンケートをするとすれば、対象はどうなるのか。

事務局：・民営化した保育園の現在の在籍児童保護者を対象に考えている。

議 長：・先ず、アンケートをやるべきか、やらざるべきか。今既に、法人4園がやった満足度調査をもって、保護者の満足度という形で決めるのがよいのか。もうひとつはアンケートの対象者を民営化した保育所の保護者だけに限るのか、公立に通っている保護者も対象にするのか。

- 委員：・検討委員会で検討するのであれば、内部だけで話をするのではなくアンケートは取る必要があると思う。実際に、今保育園を利用して、子どもさんを預けている保護者の意見なしに進めるのはどうか。
- 議長：・3月議会で本会議、委員会でも、どんな形の委員会を設けてどんなことをするか、議論があった。委員会の中で各施設の関係者からアンケートを取るとしている。アンケートを取らずに検証したとは言えないのではないか。
- 委員：・最初の所は民営化して3年経つ。保護者も半分以上が民営化後の方たちになる。そうすると民営化する前との比較はしにくいのではないか。2年目と3年目の4園だけでもいいのではと思う。
- 委員：・子どもさんはどう思っているか、保護者はどう思っているか、を書けるようなアンケートだと良い。となると3年より2年位経過している方が良いのではないか。比較もしやすい。
- 委員：・単純な発想だが、民営化した保育所の保護者にとって、民営化4年が経過、最初民営化した所は5歳児とその保護者もまだ残っている訳で、明確な理由があれば2年目、3年目と限定してもよいが、そうでなければ「我々も民営化した保育所の保護者なのに」との議論も残るのではないか。むしろ幅広くやる方がよいと思う。
- 議長：・総合的にいえば、保護者のアンケートなしには検証はあり得ない、という結論だ。
- ・10月の委員会で決定すれば、年内にアンケート調査を実施する。
- 委員：・2年目3年目というのもよくわかるが、特に今年度移管された保育所は事象が新しいということで非常に保護者の意識も高い。「検証が行われているなら是非とも参加したい」との気持ちが賛成派、反対派に関わらずあるのかなと、保護者と接していて感じる。
- 議長：・移管した全8か所の保育所でアンケートを実施する。
- ・法人の調査内容、財政的な効果の下資料を出してもらい検討できるようにしてもらいたい。
  - ・人件費については、きちっと精査してほしい。
  - ・アルバイトについても、精査してほしい。これで終了する。